

睡眠時無呼吸症候群の治療管理体制

～ CPAPデータチェックとタイトレーション検査の重要性 ～

当院では、現在約1280名の患者さんが睡眠時無呼吸のCPAP治療で通院されており、専門性を生かした治療機器の管理や指導、タイトレーションに力を入れています。

CPAP治療の管理・指導には、機器内のデータを活用する方法があります。当院では解析ソフトを導入しており、診察当日に速やかにデータを確認し、医師や検査技師が指導を行う体制をとっています。



CPAP治療は鼻マスクを介して、一定の陽圧の空気を送り込み、上気道を広げ呼吸しやすい状態にします

CPAP機器データからわかること

過去数ヶ月の使用頻度、時間が確認できます



使用時間確認の重要性

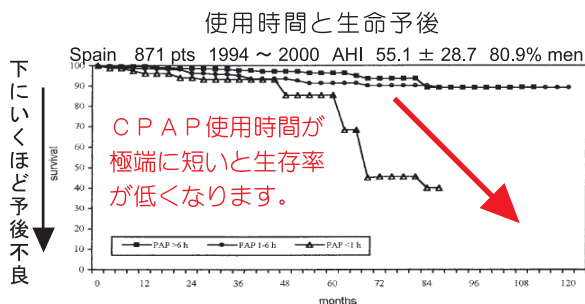
過去数日の圧変動、マスク漏れの状態を確認できます



作動状況確認の重要性

主なチェック項目

- 使用時間、頻度
- 睡眠リズム（起床、就床）
- マスク着脱回数（トイレ etc）



主なチェック項目

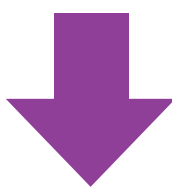
- マスクの漏れ量、タイミング
- 圧変動、タイミング
- 漏れと圧変動の関連



- ・一定以上のマスクからの漏れがあると、必要な圧が供給されず、不十分な治療になります。（眠気や頭痛などの症状が改善しません）
- ・送り込まれる圧が強すぎたり弱すぎたりすると、違和感が強くなり使用時間に影響が出てきます。

使用時間が短い方・圧の違和感が強い方
眠気などの症状がとれない方

タイトレーション検査を受けましょう！



タイトレーション検査とは??

患者さんがお使いになっているCPAP機器の設定が適正かどうか、無呼吸を改善する圧力の決定や他の睡眠障害がないか等の確認を行う検査です。

検査は、頭に電極をつけた状態（診断時の検査入院と同じ）でCPAPマスクを装着して一泊していただき、検査技師が終夜モニタリングを行いながら必要に応じて手動で圧力を調整します。

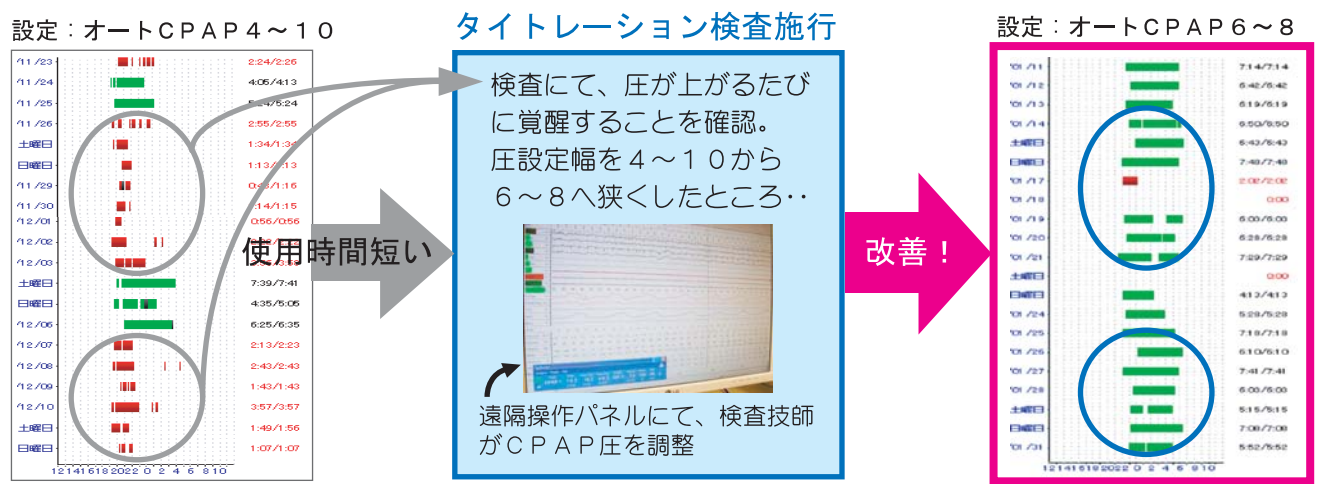
患者さんの無呼吸状態によってはオートCPAP機器が適切に反応せず、十分な治療効果が得られていない場合があります。その場合、下記の症状が見られることがあります。

- 圧が十分にかからない場合
- 無呼吸、低呼吸、いびきの残存
 - 中途覚醒（脳波上覚醒）
 - 睡眠の分断
 - 日中の眠気
 - 無呼吸の症状

- 過剰な圧がかかる場合（圧暴発）
- 中途覚醒（脳波上覚醒）
 - 睡眠の分断
 - 不快感、マスクからのエラー漏れ
 - 覚醒後、寝つきが悪い（再入眠困難）
 - 胃内ガス貯留（ガスがお腹で張る）



タイトレーション検査で使用状況が良くなった例（通院中Aさんのデータ）



以前はCPAPマスクの風圧が苦しく使用に抵抗があった患者さんでしたが、タイトレーション検査にて機器の調整を行ったところ、呼吸がしやすくなり使用頻度・時間ともに上昇しました。

オートCPAPも万能でないため、細かい設定が重要になります！
特に上限が高すぎる場合には注意しましょう！

快適な睡眠を得るために ～快眠CPAPers通信による情報提供～

検査科では、毎月オリジナル新聞「快眠CPAPers通信」を発行しています。快眠へのアドバイスや関連情報を記載していますので、ぜひ一度ご覧ください！（当院ホームページ広報欄からも閲覧することができます→アドレス www.k-you.or.jp）

機器の適正使用も大切なことではありますが、やはり重要なのは日々の生活管理です。生活リズムを整え、良い睡眠をとり人生を満喫しましょう！

good sleep! good life!

